

「財務会計Ⅱ」 シラバス

学科	商業科	学年	3年	類型		組	5組	単位数	3
使用教科書	財務会計Ⅱ（東京法令出版）								
副教材等	日商簿記検定 模擬試験問題集 2級（実教出版）								

1 学習の到達目標

<p>① 財務会計に関する知識と技術を習得させ、経済社会において会計責任を果たすことの重要性について理解させる。</p> <p>② 会計に関する法規や基準の変更に対応し、会計情報を利害関係者に提供し、活用する能力と態度を育てる。</p>
--

2 学習評価

次の三つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりごとに、下記の評価項目により、観点別評価と100点法の評価をする。学年末において、観点別評価を5段階の評定に総括する。

知識・技能	財務会計に関する理論的な知識と技術にとどまらず、実務と関連付けられ、ビジネスのさまざまな場面で役に立つ実務に即した知識と技術が身に付いているか。	(4) (5)
思考・判断・表現	会計情報が社会に及ぼす影響を踏まえ、財務会計に関する理論、企業活動の流れなど科学的な根拠にもとづいて工夫してよりよく課題に対応する力、財務指標を組み合わせて企業の実態を総合的に分析する力および経営判断が企業に及ぼす影響を会計的側面から分析する力が身に付いているか。	(4) (5)
主体的に学習に取り組む態度	会計責任を果たす力の向上を目指して自ら財務会計について学ぶ態度および組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、国際的な会計基準を踏まえた企業集団の会計処理などによる会計情報の提供と効果的な活用に責任を持って取り組む態度が身に付いているか。	(1) (2) (3)
評価方法	主な評価項目	
学習状況の観察	(1)授業態度	
自己評価シート	(2)問題集の進捗度	
課題	(3)平常日・長期休業中	
定期考査	(4)定期考査・課題テスト	
検定試験	(5)全商会計実務検定	

3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評価項目	
一 学 期	第Ⅰ編 財務会計の基本概念と 会計基準 第1章 財務諸表の作成と表示の 考え方 第2章 資産負債アプローチと 収益費用アプローチ 第3章 会計基準の国際的統合	<ul style="list-style-type: none"> ・企業会計の意義と領域、会計公準、財務報告の目的について理解する。 ・資産負債アプローチと収益費用アプローチのそれぞれの考え方や、包括利益と純利益の関係について理解する。 ・日本の会計基準および国際会計基準の概要と、会計基準の国際的な統合の動きについて理解する。 	(1)	
	第Ⅱ編 会計処理 第1章 貨幣の時間価値 第2章 金融商品・外貨建取引 第3章 有形固定資産 第4章 無形固定資産 第5章 繰延資産 第6章 固定負債 第7章 純資産 第8章 収益と費用 第9章 税効果会計	<ul style="list-style-type: none"> ・債権、貸倒引当金の見積りおよび有価証券など、金融資産に関する会計処理について理解する。 ・外国通貨、外貨建金銭債権債務、外貨建有価証券および為替予約など、外貨建取引に関する会計処理について理解する。 ・固定資産の減損会計、リース会計、投資不動産、総合償却、圧縮記帳および法人税法上の減価償却など、有形固定資産に関する会計処理について理解する。 ・社債、退職給付引当金および資産除去債務など、固定負債に関する会計処理について理解する。 ・純資産の分類、ストック・オプション、分配可能額および株主資本の計数変動など、純資産に関する会計処理について理解する。 ・税効果会計の意義と、棚卸資産の評価損、未払事業税、圧縮記帳および繰延ヘッジ損益に関する税効果会計の会計処理について理解する。 	(1) (4)	
	第Ⅲ編 キャッシュ・フローに 関する財務諸表 第1章 キャッシュ・フロー 計算書	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッシュ・フロー計算書の意義、必要性、表示区分とその作成方法について理解し、資料をもとに直接法および間接法によるキャッシュ・フロー計算書を作成する学習活動に取り組む。 	(2) (1) (4) (3)	
	第Ⅳ編 企業集団の会計 第1章 企業結合会計 第2章 連結財務諸表の作成 第3章 持分法	<ul style="list-style-type: none"> ・連結財務諸表の意義と目的、連結の範囲、連結財務諸表の種類について理解し、資料をもとに支配獲得日の連結 B/S や、連結第1年度末の連結 F/S (資本連結のみ) を作成する学習活動に取り組む。 ・連結税効果会計の意義と、その会計処理について理解する。 ・企業価値の概要と企業価値を評価することの意義、およびキャッシュ・フロー分析などを活用した企業価値の評価方法について理解する。 ・株価収益率、株価純資産倍率、株価売上高倍率および株価キャッシュ・フロー倍率などの株価を用いた代表的な指標を利用して、財務諸表を分析する方法について理解する。 ・連結情報を分類・整理し、企業グループ全体の業績と連結経営を評価する方法や四半期報告書について理解し、資料をもとに連結財務諸表分析をおこなう事例研究に取り組む。 ・EDINET を利用して2つの企業の連結財務諸表を入手し、財務指標を比較してどちらの企業が優良であるかを判断して、その理由をグループで話し合う学習活動に取り組む。 	(1) (4)	
	第Ⅴ編 財務諸表分析 第1章 企業価値の評価 第2章 株価を用いた財務諸表分析 第3章 連結財務諸表分析	<ul style="list-style-type: none"> ・EDINET を利用して2つの企業の連結財務諸表を入手し、財務指標を比較してどちらの企業が優良であるかを判断して、その理由をグループで話し合う学習活動に取り組む。 	(1) (2) (5) (4) (3)	
	第Ⅵ編 監査と職業会計人 第1章 会計責任と監査の概要 第2章 職業会計人の倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の監査制度の概要とその重要性、監査の実施方法などについて理解する。 ・職業会計人（公認会計士および税理士）の役割と倫理について理解する。 ・自分の5年後や10年後の仕事について考える学習活動に取り組む。 	(1)	
	二 学 期			
	三 学 期			